

国 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称	教科書名
2 東 書	新編 新しい国語
17 教 出	ひろがる言葉 小学国語
38 光 村	国語

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	各単元における目標の示し方
		②	言葉の特徴や使い方に関する事項	語彙を豊かにするための語句の示し方
		③	情報の扱い方に関する事項	情報の扱い方についての示し方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名、題材、内容
		⑤	課題解決的な学習を実施するための工夫	課題と学習の進め方
		⑥	見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	学習過程、資料、評価活動
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元や資料等の配列	配列の特徴・単元数、領域ごとのページ数
		⑧	伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元等数、単元名等、取り上げられている作品等
(エ)	内容の表現・表記	⑨	巻頭の示し方	巻頭の示し方と内容
		⑩	本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用	文章と図表等との関連について考えさせる記述
(オ)	言語活動の充実	⑪	考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫	単元名、例示されている話題、話合いの形態、役割
		⑫	学校図書館機能の利活用	学校図書館等の利活用の仕方について示されている内容

【国語】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	各単元における目標の示し方

第6学年 読むこと 説明的な文章				
	単元名	教材名	学習目標	学習目標の示し方
東 書	○ 筆者の論の進め方をとらえよう	○ 「イースター島にはなぜ森林がないのか」	○ 論の進め方をとらえる	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入ページに「言葉の力」として目標を示している。 単元末の「言葉の力」欄において、目標とする力を身に付けるためのポイントを簡条書きで示している。
教 出	○ 文章と資料をあわせて読み、筆者の考えをとらえよう	<ul style="list-style-type: none"> 「アイスが暑いほどおいしい？—グラフの読み取り」 「雪は新しいエネルギー—未来へつなぐエネルギー社会」 	○ 筆者の説明の工夫をとらえる	<ul style="list-style-type: none"> 単元末の「ここが大事」欄において、教材文を例示しながら、目標とする力を身に付けるためのポイントを短い文章で示している。
光 村	○ 主張と事例の関係をとらえ、自分の考えを伝え合おう	<ul style="list-style-type: none"> 「笑うから楽しい」 「時計の時間と心の時間」 	○ 主張と事例の関係から、文章全体の構成をとらえる	<ul style="list-style-type: none"> 単元末の「たいせつ」欄において、目標とする力を身に付けるためのポイントを簡条書きで示している。

【国語】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②言葉の特徴や使い方に関する事項
方法	語彙を豊かにするための語句の示し方

第2学年 語彙に関する巻末資料			
	資料名	内容 ☆言葉の示し方 □語彙への関心を喚起する言葉	項目（語数）
東 書	「ことばの広場」	☆ 項目別に分類された言葉を示している。 （上下巻とも） □ いろいろなことばをおぼえて、話したり書いたりするときにつかいましょう。	○ （上巻） ・学校にあるものの名前（30） ・家にあるものの名前（30） ・町や村にあるものの名前（47） ・くらしの中でよくつかうことば（58） ○ （下巻） ・みぢかな人をあらわすことば（20） ・もののようすをあらわすことば（30） ・人の体をあらわすことば（39） ・人がすることをあらわすことば（56） 二次元コードにより、Web上に掲載されている全学年の「ことばの広場」を見ることができる。
教 出	「言葉の木」	☆ 枝に語彙の分類の観点、葉に分類された言葉を示している。 （上巻） □ ほかに「はんたいのいみの言葉」や「にたいみの言葉」を見つけることができるかな。 （下巻） □ 言葉は大きくまとめたり、こまかく分けたりすることができるね。	○ （上巻） ・はんたいのいみの言葉（18） ・にたいみの言葉（18） ○ （下巻） ・広いことばとせまいことば（19） どうぶつ しょつき 色 おもちゃ 本
光 村	「ことばのたからばこ」	☆ 項目別に分類された言葉を示している。 （上巻） □ じんぶつやできごと、見つけたことについて、かんじたことをつたえるときにつかいましょう。 （下巻） □ お話に出てくるじんぶつについてせつめいするときや、思ったことをつたえるときに、つかいましょう。	○ （上巻） ・じんぶつをあらわすことば（10） ・もののようすをあらわすことば（14） ・気もちをあらわすことば（20） ○ （下巻） ・じんぶつをあらわすことば（10） ・もののようすをあらわすことば（15） ・気もちをあらわすことば（21） 二次元コードにより、Web上に掲載されている下学年で学んだ言葉を見ることができる。

【国語】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③情報の扱い方に関する事項
方法	情報の扱い方についての示し方

第3学年・第4学年に示された内容				
	資料名	内容		示し方
		第3学年	第4学年	
東 書	「じょうほうのとびら」	(上巻) ・全体と中心 (下巻) ・分ける ・考えと理由	(上巻) ・引用する (下巻) ・観点を立てて比べる ・理由をぎんみする	関連する単元の前後に配置している。
教 出	「じょうほうのまとめ」(第3学年) 「情報のまとめ」(第4学年)	(上巻) ・全体と中心 ・辞典や事典、ずかんの使い方 (下巻) ・考えとその理由・事例 ・メモの取り方	(上巻) ・考えとその理由・事例 ・くらべる・分ける (下巻) ・全体と中心 ・引用のし方、出典のしめし方	巻末にまとめて示し、その巻に掲載の関連する単元を表記している。
光 村	「じょうほう」	(上巻) ・全体と中心 ・引用するとき	(上巻) ・考えと例 ・要約するとき	関連する単元の前後に配置している。

【国語】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名、題材、内容

第5学年 話すこと・聞くこと			
	単元名	題材	内容
東 書	○ 問題を解決するために話し合おう	○ 身の回りにある問題	<p><学習の流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見通す ○ 取り組む <ul style="list-style-type: none"> (1)議題を決めよう。 (2)議題に対する自分の考えを持とう。 (3)計画的に話し合おう。 <ul style="list-style-type: none"> ①問題の原因と解決のための取り組みについて、意見を出し合う。 ②意見をもとに、考えを広げる。 ③意見を整理して、考えをまとめる。 ○ 振り返る
教 出	○ 立場を明確にして話し合おう	○ ミニディベート—AIとのくらし	<p><学習の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見通しをもとう <ul style="list-style-type: none"> (1)決めよう・集めよう <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決めて、調べる。 (2)組み立てよう <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの準備をする。 (3)話そう・聞こう <ul style="list-style-type: none"> ・「ミニディベート」を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ①利点の立場からの意見を述べる。 ②問題点の立場からの意見を述べる。 ③問題点の立場から利点の立場へ質問や反論をする。 ④利点の立場から問題点の立場へ質問や反論をする。 ⑤おたがいに質問や反論に答える。 ⑥聞き手がそれぞれに感想や評価を伝える。 (4)伝え合おう <ul style="list-style-type: none"> ・感想を交流する。 ○ 振り返ろう
光 村	○ たがいの立場を明確にして、話し合おう	○ よりよい学校生活のために	<ul style="list-style-type: none"> ○ 確かめよう <ul style="list-style-type: none"> 「四年生で学んだこと」「どちらを選びますか」 ○ 見通しをもとう <ul style="list-style-type: none"> (1)決めよう 集めよう <ul style="list-style-type: none"> ①学校生活の中から、議題を決めよう。 ②自分の立場を明確にしよう。 (2)準備しよう <ul style="list-style-type: none"> ③話し合いのしかたを確かめ、進行計画を立てよう。 (3)話そう 聞こう <ul style="list-style-type: none"> ④計画にそって、グループで話し合おう。 <ul style="list-style-type: none"> ・考えを広げる話し合い ・考えをまとめる話し合い (4)つなげよう <ul style="list-style-type: none"> ⑤話し合ったことをクラスで共有し、感想を伝え合おう。 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの内容に関して ・話し合いや発言のしかたに関して ○ ふりかえろう

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	課題と学習の進め方

		第3学年 読むこと 文学的な文章「モチモチの木」	
		☆単元名 □課題	学習の進め方
東 書	☆ 想ぞうしたことをつたえ合おう	□ どんなせいかくの登場人物が出てくるかな。 □ 「モチモチの木」っていったいどんな木なんだろう。登場人物とどんな関係があるのかな。	<input type="radio"/> 見通す ・地の文と会話文を手がかりに、人物のせいかくを想ぞうしましょう。
	□ どんなせいかくの登場人物が出てくるかな。		<input type="radio"/> 取り組む ・物語の内ようをとらえよう。 どの登場人物が出てきますか。 どんな出来事があったかをたしかめましょう。
	□ 「モチモチの木」っていったいどんな木なんだろう。登場人物とどんな関係があるのかな。		<input type="radio"/> 人物のせいかくを想ぞうしよう。 豆太の行動や様子が書かれている部分や、会話文を書き出し、豆太の気持ちを場面ごとに整理しましょう。 どうして豆太は、モチモチの木に灯がともるのを見ることができたのでしょうか。 豆太はどのようなせいかくの人物だと思いましたか。 <input type="radio"/> 登場人物について想ぞうしたことをつたえ合おう。 豆太のせいかくと、想ぞうした理由を、友だちとつたえ合いましょう。
教 出	☆ 登場人物のせいかくを考えながら読もう	□ 豆太の行動や会話からせいかくをそうぞうして、考えたことをつたえ合おう。	<input type="radio"/> たしかめよう ・この物語の主な登場人物をたしかめましょう。その中で、中心人物はだれでしょうか。 ・豆太を「おくびょう」だと言っているのはだれでしょうか。
	□ 豆太の行動や会話からせいかくをそうぞうして、考えたことをつたえ合おう。		<input type="radio"/> くわしくよう ・豆太のせいかくがわかる行動や会話を、場面ごとにノートにまとめましょう。 ・その場面の豆太のせいかくについて、自分が考えたことをまとめましょう。
	□ 豆太の行動や会話からせいかくをそうぞうして、考えたことをつたえ合おう。		<input type="radio"/> まとめよう ・豆太のせいかくは、物語の中でかわったと思いますか。自分の考えとその理由をノートに書きましょう。 <input type="radio"/> つたえあおう ・あなたは、豆太のせいかくについてどう思いますか。考えたことをつたえ合いましょう。
光 村	☆ 登場人物について考えたことを、つたえ合おう	□ あなたは、「豆太」をどのような人物だと思いましたか。友だちは、どのように考えているのでしょうか。	<input type="radio"/> とらえよう ・場面ごとに、「豆太」と「じさま」の行動や会話、そのときの様子をたしかめましょう。
	□ あなたは、「豆太」をどのような人物だと思いましたか。友だちは、どのように考えているのでしょうか。		<input type="radio"/> ふかめよう ・「豆太」はどんな人物ですか。行動や会話、語り手が語る言葉などをもとに、そうぞうしましょう。 ・物語のはじめと終わりで、「豆太」はかわったのでしょうか。着目する点を一つえらび、場面や言葉をむすびつけたりくらべたりして、考えましょう。
	□ あなたは、「豆太」をどのような人物だと思いましたか。友だちは、どのように考えているのでしょうか。		<input type="radio"/> ひろげよう ・着目した点と同じ人どうしや、ちがう人どうしで考えをつたえ合い、あなたの考えを深めましょう。 <input type="radio"/> まとめよう ・「豆太」について考えてきて感じたことや、自分とくらべて考えたことなどをまとめましょう。その考えが、作品のどこから生まれているのかも書きましょう。 <input type="radio"/> ひろげよう ・まとめた考えをつたえ合いましょう。友だちの考えと自分の考えをくらべ、にているところやちがうところ、新しく気づいたことを見つけましょう。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	学習過程、資料、評価活動

第4学年 書くこと 「新聞作り」				
	☆単元名 □目的	学習過程	資料	評価活動
東 書	☆ 「和と洋新聞」を作ろう □ 「くらしの中の和と洋」を読んで学んだことを生かしながら、身の回りの「衣・食・住」の和と洋について調べ、新聞にまとめる。	○ 見通す ○ 取り組む ①材料を集めて整理しよう。 ②記事の下書きを作ろう。 ③わり付けを決めて新聞を完成させよう。 ○ ふり返る	・新聞の例 ・「衣」「食」「住」のテーマの例 ・中山さんと田村さんが取材して分かったことを整理した例 ・記事の下書きの例 ・「言葉の力」 ・[二次元コード] 「調べたことを整理する」 「観点を立ててくまらべる」 「引用する」 「デジタルノート」 「新聞のわり付け」	完成した新聞をほかのグループと読み合い、感想を伝え合う。
教 出	☆ 集めたざいりょうでわかりやすく伝えよう □ 伝えたい内容に合った資料を選び、写真や図表を効果的に使いながら新聞を作る。	○ 見通しをもとう ・決めよう・集めよう ①知らせたいことを決め、調べる。 ・組み立てよう ②記事のわりつけを考える。 ・書こう ③記事の下書きをする。 ・読み返そう ④読み返して、せいしよする。 ・伝え合おう ⑤新聞を読み合う。 ○ ふり返ろう	・新聞って？ ・割付用紙 ・話し合い活動のイメージイラスト ・出来上がった新聞の例 ・「ここが大事」	廊下などに貼って読み合う。
光 村	☆ 見せ方を工夫して書こう □ グループで話し合って、記事の見せ方を考え、知らせたいことが読む人に分かりやすく伝わる新聞を作る。	○ たしかめよう 「三年生で学んだこと」 ○ 見通しをもとう ・決めよう集めよう ①新聞の工夫をたしかめる。 ②どんな新聞を作るか話し合う。 ③取材をし、メモを取る。 ・組み立てよう ④わり付けを決める。 ・書こう ⑤記事を書き、新聞を仕上げる。 ・つなげよう ⑥読み合って、感想を伝え合う。 ○ ふりかえろう	・新聞の例 ・新聞の特徴と工夫 ・テーマの例 ・話し合い活動のイメージイラスト ・新聞を作る前に話し合うこと ・取材をするときのポイント ・割付けの例 ・割付けを考えるとときのポイント ・出来上がった新聞の例 ・「たいせつ」 ・アンケート調査の仕方	書き方や内容について、感想を伝え合う。

【国語】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元や資料等の配列
方法	配列の特徴・単元数、領域ごとのページ数

	配列の特徴・単元数	領域ごとのページ数							
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年から第4学年までは、上下巻の2冊構成、第5学年及び第6学年は各1冊である。 ○ 第2学年以上の各巻の巻頭に、「言葉の力を集めよう」「国語の学習の進め方」を設定している。 ○ 全学年の「言葉の力」が領域別・学年別にまとめられた資料を Web 上で見ることができる二次元コードを付している。 ○ 「読むこと」の単元と「書くこと」の単元の間、小単元「情報のとびら」を配置し、両単元を関連させる学習を設定している。 ○ 年間総単元数（小単元を除く） 第1学年：14（下巻のみ） 第2学年：26 第3学年及び第4学年：19 第5学年：18 第6学年：17 								
		知識・技能	言葉	155	93	147	157	127	165
			情報	43	53	72	74	48	59
			言語文化	22	53	33	35	54	33
		話すこと・聞くこと	30	29	24	24	22	24	
		書くこと	66	61	60	61	56	64	
		読むこと	130	123	141	141	149	137	
		入門期	23						
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年上下巻の2冊構成である。 ○ 巻頭に「〇年生で学ぶこと」を設定している。 ○ 上下巻それぞれの巻末に、学習したことを振り返ることができるコーナー「ひろがる言葉」を設定している。 ○ 第3学年以上には、「読むこと」の単元の1つにおいて、教材文を読む際の視点に気付くための導入教材を配置している。 ○ 年間総単元数（小単元を除く） 第1学年：8（下巻のみ） 第2学年及び第3学年：14 第4学年：16 第5学年及び第6学年：11 								
		知識・技能	言葉	219	191	209	156	168	147
			情報	20	67	62	94	72	44
			言語文化	41	18	66	39	29	34
		話すこと・聞くこと	23	19	36	31	27	24	
		書くこと	41	36	45	62	53	46	
		読むこと	146	165	140	140	148	128	
		入門期	21						
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年から第4学年までは、上下巻の2冊構成、第5学年及び第6学年は各1冊である。 ○ 巻頭に「国語の学びを見わたそう」を設定している。 ○ 第3学年以上には、「読むこと」の単元の1つにおいて、教材文を読む際の視点に気付くための導入教材[練習]を配置している。 ○ 年間総単元数（小単元を除く） 第1学年：11（下巻のみ） 第2学年：19 第3学年及び第4学年：15 第5学年及び第6学年：14 								
		知識・技能	言葉	184	198	168	166	165	212
			情報	33	50	73	70	58	25
			言語文化	60	57	54	55	70	62
		話すこと・聞くこと	38	22	22	22	22	21	
		書くこと	74	58	60	55	55	75	
		読むこと	110	147	141	149	126	148	
		入門期	24						

【国語】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元等数、単元名等、取り上げられている作品等

	学年	単元等数	単元名等	取り上げられている作品等
東 書	第1・2学年	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ ことばであそぼう ○ むかしばなしをたのしもう ○ きせつの足音 はる ○ きせつの足音 なつ ○ 言いつたえられているお話を知ろう ○ きせつの足音 あき ○ きせつの足音 ふゆ ○ むかしからつたわる言い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「さかさまによんでも」「だじゃれ」等 ・ 「花さかじいさん」 ・ 春の詩「おがわのはる」「たんぼぼ」 ・ 夏の詩「いるか」、早口ことば ・ 「だいだらぼう」「いなばの白うさぎ」 ・ 秋の詩「うさぎ」、ことばあそび ・ 冬の詩「雪」、さかさことば ・ 十二支、小の月、いろは歌、いろはかるた、きょう土かるた
	第3・4学年	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ きせつの足音 春 ○ きせつの足音 夏 ○ 慣用句を使おう ○ きせつの足音 秋 ○ きせつの足音 冬 ○ 俳句に親しもう ○ きせつの足音 春 ○ きせつの足音 夏 ○ ことわざ・故事成語を使おう ○ きせつの足音 秋 ○ 百人一首に親しもう ○ きせつの足音 冬 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の詩「野川」「ふきのとう」、春の短歌、俳句 ・ 夏の詩「西瓜の詩」、夏の短歌、俳句 ・ 「ねこの手もかりたい」「道草を食う」等 ・ 秋の詩「ぶどう」、秋の短歌、俳句 ・ 冬の詩「ちらちらゆき」、冬の短歌、俳句 ・ 春の俳句、夏の俳句、秋の俳句、冬の俳句等 ・ 春の詩「蝶々」「てんとうむし」、春の短歌、俳句 ・ 夏の詩「おれはかまきり」、夏の短歌、俳句 ・ 「さるも木から落ちる」「五十歩百歩」等 ・ 秋の詩「風のあと」、秋の短歌、俳句 ・ 百人一首 ・ 冬の詩「秤」、冬の短歌、俳句
	第5・6学年	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の足音 春 ○ いにしえの言葉に親しもう ○ 季節の足音 夏 ○ 季節の足音 秋 ○ 季節の足音 冬 ○ いにしえの人のえがく世界 ○ 季節の足音 春 ○ 漢文に親しもう ○ 季節の足音 夏 ○ 季節の足音 秋 ○ 季節の足音 冬 ○ 古典芸能への招待状 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の詩「春の河」「ガラス窓の向うで」、春の短歌、俳句 ・ 「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」「学問のすゝめ」、短歌 ・ 夏の詩「積乱雲」、夏の短歌、俳句 ・ 秋の詩「落葉」、秋の短歌、俳句 ・ 冬の詩「草が枯れるのは」、冬の短歌、俳句 ・ 「枕草子」 ・ 春の詩「五月」「テニス」、春の短歌、俳句 ・ 「百聞は一見にしかず」「論語」「春暁」「万葉集」 ・ 夏の詩「祖母」、夏の短歌、俳句 ・ 秋の詩「素朴な琴」、秋の短歌、俳句 ・ 冬の詩「手紙」、冬の短歌、俳句 ・ 狂言「神鳴」、能、歌舞伎、落語、地域の伝統芸能等

【国語】

	学年	単元等数	単元名等	取り上げられている作品等
教 出	第1・2学年	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ ことばの ぶんか① 天に のぼった おげやさん ○ ことばの ぶんか② しりとりであそぼう ○ 言葉の 文化① 回文を たのしもう ○ 言葉の 文化② むかしの うたを読もう ○ 言葉の 文化③ いなばの しろうさぎ ○ 言葉の文化④ 「あいうえお」であそぼう ○ 言葉の文化⑤ かるたであそぼう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「天にのぼったおげやさん」 ・ しりとり ・ 回文 ・ 「いろはうた」「おてだまうた」 ・ 「いなばの しろうさぎ」 ・ 「あいうえお」を使った文 ・ かるた遊び、郷土のかるた（じょうもうかるた（群馬県））等
	第3・4学年	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の文化① 俳句に親しむ ○ 言葉の文化② きせつの言葉を集めよう ○ 言葉の文化③ ことわざ・慣用句 ○ 言葉の文化④ 十二支と月のよび名 ○ 言葉の文化① 短歌の世界 ○ 落語を声に出して楽しもう 「ぞろぞろ」 ○ 言葉の文化② 「月」のつく言葉 ○ 言葉の文化③ 故事成語 ○ 言葉の文化④ 雪 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 俳句 ・ 季節の言葉 ・ ことわざ「さるも木から落ちる」、慣用句 ・ 十二支、時刻、方角、月の呼び名等 ・ 短歌 ・ 落語「ぞろぞろ」 ・ 「中秋の名月」「お月見」等 ・ 「五十歩百歩」「漁夫の利」「蛇足」等 ・ 雪にまつわる唱歌、詩、俳句、短歌等
	第5・6学年	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の文化① 漢文に親しむ ○ 言葉の文化② 鳥 ○ 言葉の文化③ 「古典」を楽しむ ○ 付録 短歌や俳句を楽しもう ○ 付録 附子（狂言） ○ 言葉の文化① 春はあけぼの ○ 言葉の文化② 雨 ○ 言葉の文化③ 「知恵の言葉」を集めよう ○ 言葉の文化④ 言葉は時代とともに ○ 付録 伝えられてきた作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「春暁」「静夜思」等 ・ 俳句、短歌、鳥にまつわる言葉 ・ 「竹取物語」「平家物語」の冒頭部分、「伊曾保物語」、能、狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎等 ・ 俳句、短歌、川柳 ・ 「附子」 ・ 「枕草子」 ・ 雨にまつわる言葉、短歌、俳句、詩 ・ 教訓、おまじない、ことわざ等 ・ 「万葉集」、短歌、俳句、「坊ちゃん」「杜子春」、時代によって変化してきた言葉等 ・ 「徒然草」「おくのほそ道」「アイヌ神謡集」「おもろそうし」

【国語】

	学年	単元等数	単元名等	取り上げられている作品等
光 村	第1・2学年	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ おむすびころりん ○ ことばをたのしもう ○ むかしばなしをよもう ○ きいてたのしもう ○ きせつのことば1 はるがいっぱい ○ 聞いてたのしもう ○ きせつのことば2 なつがいっぱい ○ ことばあそびをしよう ○ きせつのことば3 秋がいっぱい ○ 聞いて楽しもう ○ きせつのことば4 冬がいっぱい ○ ことばを楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おむすびころりん」 ・「ぞうさんのぼうし」、はやくちことば ・「おかゆのおなべ」 ・「わらしべちょうじゃ」 ・春の動植物、「はながさいた」 ・「いなばのしろうさぎ」 ・夏の動植物、「みんな」 ・かぞえうた、いろはうた等 ・秋の動植物、「やま」 ・「せかい一の話」 ・冬の動植物、「ゆき」 ・回文
	第3・4学年	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ きせつの言葉1 春のくらし ○ 声に出して楽しもう 俳句を楽しもう ○ きせつの言葉2 夏のくらし ○ きせつの言葉3 秋のくらし ○ つたわる言葉 ことわざ・故事成語 ○ 声に出して楽しもう 短歌を楽しもう ○ きせつの言葉4 冬のくらし ○ 知ると楽しい「故事成語」 ○ きせつの言葉1 春の楽しみ ○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう(一) ○ 季節の言葉2 夏の楽しみ ○ 季節の言葉3 秋の楽しみ ○ 伝わる言葉 慣用句 ○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう(二) ○ 季節の言葉4 冬の楽しみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどり」、春の言葉 ・俳句 ・「はなび」、夏の言葉 ・「虫の声」、秋の言葉 ・「笑う門には福来る」「五十歩百歩」等 ・短歌 ・「ゆき」、冬の言葉 ・「杞憂」「登竜門」「蛇足」「蛭雪の功」 ・春の行事、言葉、俳句 ・短歌、俳句 ・夏の行事、言葉、俳句、短歌 ・秋の行事、言葉、短歌 ・「羽をのばす」等 ・短歌、俳句 ・冬の行事、言葉、俳句、春の七草等
	第5・6学年	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の言葉1 春の空 ○ 言葉をよりすぐって俳句を作ろう 日常を十七音で ○ 声に出して読もう 古典の世界(一) ○ 季節の言葉2 夏の夜 ○ 季節の言葉3 秋の夕 ○ 古典に親しもう 「浦島太郎」 ○ 声に出して読もう 古典の世界(二) ○ 季節の言葉4 冬の朝 ○ 季節の言葉1 春のいぶき ○ 声に出して楽しもう 天地の文 ○ 季節の言葉2 夏のさかり ○ 季節の言葉3 秋の深まり ○ 伝えられてきた文化 古典芸能の世界 ○ 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう 「鳥獣戯画」を読む ○ 季節の言葉4 冬のおとずれ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」、春の言葉、俳句 ・俳句 ・「竹取物語」「平家物語」「方丈記」「徒然草」 ・「枕草子」、夏の言葉、俳句 ・「枕草子」、秋の言葉、俳句 ・「浦島太郎」 ・「論語」「春暁」 ・「枕草子」、冬の言葉、俳句 ・二十四節気(春)、春の短歌、俳句 ・「天地の文」 ・二十四節気(夏)、夏の短歌、俳句 ・二十四節気(秋)、秋の短歌、俳句 ・狂言、能、歌舞伎、人形浄瑠璃、「柿山伏」 ・「鳥獣人物戯画」 ・二十四節気(冬)、冬の短歌、俳句

【国語】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨巻頭の示し方
方法	巻頭の示し方と内容

		巻頭の示し方と内容
東 書	学習の進め方	○ 国語の学習の進め方 *第2学年以上 ・「思い出そう」「見通す」「取り組む」「ふり返る」「生かそう」という学習過程を示している。
	身に付けたい力・学習すること	○ 「言葉の力を集めよう」 *第2学年以上 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、各単元で身に付けたい力を一覧で示している。 ・Web 上に掲載されている身に付けたい力の内容を見ることができるよう、二次元コードを示している。
	前学年の学習の振り返り	● 「言葉の力のつながり」(巻末)(折込ページ) *第3学年以上 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域で示している。
教 出	学習の進め方	● 「話す・聞く」「書く」の単元は最初のページに、「読む」の単元は最後のページに、「見通しをもとう」から「ふり返ろう」までの単元の学習過程を示している。
	身に付けたい力・学習すること	○ □年生で学ぶこと ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域に分け、教材名・単元名・身に付けたい力を示している。 ・「言語の文化」「漢字の広場」「言葉の文化」「読書の広場」ごとに、単元名を示している。
光 村	学習の進め方	○ 国語の学びを見わたそう *第2学年以上 ・「学習や生活の中で」「見通しをもつ」「問いをもつ」「話す・聞く」「書く」「読む」「ふりかえる」「学習や生活にいかす」という学習過程を示している。
	身に付けたい力・学習すること	○ □年生で学ぶこと *第2学年以上 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、教材名、身に付けたい力、学習用語を示している。
	前学年の学習の振り返り	○ △年生(前学年又は当該学年の上巻)で学んだこと ・「□年生で学ぶこと」の下段に、領域ごとに対比させる形で、前学年で学んだことを示している。「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域については学習過程に沿って示し、「言葉」の領域については「言葉の使い方」「受けつがれてきた言葉」「情報」「読書」の4つに分けて示している。
<p>・詩、目次は除く。</p> <p>・●：巻頭以外で示しているものを記載。</p>		

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑩本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用
方法	文章と図表等との関連について考えさせる記述

		第5学年	
		単元名及び内容	文章と図表等との関連について考えさせる記述
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう」 ・ 同じ出来事について、それぞれの新聞記事はどのように伝えているのか、記事と写真との関係に注意しながら、書き手の意図を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞の紙面「記事の構成」 ○ 写真「アップ」「ロング」 ○ 「記事A」「記事B」 ・ 記事と写真の関係を考えましょう。 ・ 紙面の印象や、記事に対する読み手の興味は、写真がなかった場合とどう変わるでしょうか。 ・ なぜその写真を選んだかということ、書き手の意図と結び付けて考えよう。 ・ 書き手が記事の内容や見出し、写真に、どのような意図をこめているかを考えましょう。 	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「根拠となる資料にもとづいて考えを深め、自分の意見を書こう 世界遺産白神山地からの提言―意見文を書こう」 ・ 説明文と7つの資料を読んで、自然保護についての自分の意見を根拠となる資料に基づいて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「ブナの森におおわれた白神山地」「ブナの森の中」「カモシカ」「クマゲラ」「イヌワシ」「シラガミクワガタ」「トガクシソウ」「アオモリマンテマ」 ○ 資料1「白神山地の自然保護―「緩衝地域」の役割」 ○ 地図「白神山地の位置と世界遺産登録地域」 ○ 資料2「入山届出書の例」 ○ 資料3「新聞記事より」 ○ 資料4 棒グラフ「暗門の滝をおとずれた観光客数の変化」 ・ できるだけたくさんの資料を比べて、自分の考えをはっきりさせよう。 ・ 「意見」と「根拠(もととなる資料)」が合っているか。 ・ 〈ふり返ろう〉 さまざまな資料を比べながら読み、自分の考えをまとめるときに、どのようなことを意識しましたか。 	
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう 固有種が教えてくれること」 ・ 資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして意見文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料1 地図・表「日本とイギリスの陸生ほ乳類」 ○ 資料2 年表・図「日本列島の成り立ち」 ○ 資料3 図「1年間の平均気温」 ○ 資料4 図「標高」 ○ 資料5 写真「絶滅したとされる動物」 ○ 資料6 棒グラフ「天然林等面積の推移」 ○ 資料7 折れ線グラフ「全国のニホンカモシカほかく数」 ・ 文章と、図表やグラフ、写真との関わりに注意しながら、確かめよう。 ・ 筆者の考えや説明の工夫について、資料の効果にもふれながら、自分の考えをまとめよう。 ・ 資料の効果を考えるときは <ul style="list-style-type: none"> 〈筆者の立場から考える〉 筆者は、この図表を示すことで、何を伝えたいのではないか。 〈読み手の立場から考える〉 もし、このグラフがなかったら―。 文章と図表を合わせると、―ということがいえる。 	

【国語】

観点	(オ) 言語活動の充実	
視点	⑪考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫	
方法	単元名、例示されている話題、話し合いの形態、役割	

		第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
東書	単元名	グループの合い言葉を決めよう	クラスで話し合って決めよう	問題を解決するために話し合おう	話し合って考えを深めよう
	話題	運動会の練習をみんなで頑張れるような、来月のグループの合い言葉	「心を一つに」という言葉と一緒に、クラス旗にかく絵について	高学年の読書量を増やすためにクラスでどんな取組をすればよいか	お世話になった方へのお礼は、手紙が良いか、電子メールが良いか
	形態	グループでの話し合い	クラス全体での話し合い	グループで話し合った後、クラスで共有し、話し合う	グループでの話し合い
	役割	司会	司会、参加者、提案者		司会
教出	単元名	役わりをきめて話し合おう	役わりに気を付けて話し合おう	立場を明確にして話し合おう	立場を明確にして主張しよう
	話題	図工室を表す絵文字を考える	地域の人と楽しむ新スポーツをよりよくする	A I との暮らし	災害から身を守るためには何が必要か
	形態	グループでの話し合い	クラス全体での話し合い	ミニディベート	パネルディスカッション
	役割	司会、記録、発言者	司会、黒板記録係、ノート記録係、提案者、発言者	利点の立場からの意見を述べる役、問題点の立場からの意見を述べる役、聞いて考える役	司会者、パネリスト、参加者
光村	単元名	進行にそって、はんで話し合おう	役わりを意識しながら話し合おう	たがいの立場を明確にして、話し合おう	目的や条件に応じて話し合おう
	話題	一年生が本を好きになってくれるような紹介する本を一冊決める	地域の学習でお世話になった方へのお礼の会で何をするか	階段や渡り廊下をきれいに保つために、何ができるか	交流週間に、一年生とどんな遊びをしたらよいか
	形態	班での話し合い	クラス全体での話し合い	グループでの話し合い	グループでの話し合い
	役割	司会、記録係、時間係	司会グループ(司会・記録係・時間係)、提案者、参加者	司会、記録係	司会、記録係

【国語】

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑫学校図書館機能の利活用
方法	学校図書館等の利活用の仕方について示されている内容

	単元名 (ページ数)	内容	読書記録
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年上巻「としょかんはどんなところ」(2) ○ 第2学年上巻「としょかんへ行こう」(4) ○ 第3学年上巻「図書館へ行こう」(4) ○ 第4学年上巻「図書館へ行こう」(4) ○ 第5学年「図書館へ行こう」(4) ○ 第6学年「社会教育施設へ行こう」(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館での約束 ・本の仲間分け(日本十進分類法) ・本のラベル、配架順 ・百科事典や図鑑などの調べ方 ・日本十進分類法(NDC)の仕組み ・本のラベル(請求番号) ・本のラベル(請求記号) ・日本十進分類法(NDC)の仕組み ・本のつくり、奥付 ・多様な本(点字付きの触って読める絵本・大活字本・マルチメディアデジター・リーディングトラッカー) ・目的に応じた調べ方・選書 ・図書館、文学館、歴史資料館、博物館、科学館、美術館の活用の仕方 	<p>第1学年～第4学年では「読書記録カード」、第5学年及び第6学年では「読書・情報記録カード」の一部を例示している。また、二次元コードにより、Web上に掲載されているカード全体の様式例を見ることができる。</p>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年上巻「としょかんへいこう」(2) ○ 第2学年上巻「本でしらべよう」(4) ○ 第3学年上巻「本をさがそう」(4) ○ 第4学年上巻「分類をもとに本を見つけよう」(4) ○ 第5学年上巻「図書館を活用しよう」(3) ○ 第6学年上巻「地域の施設を活用しよう」(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用 ・司書・目次 ・分かったことをメモしよう ・図書館マップによる本の分類、本の探し方 ・本のラベル(分類記号) ・目次や索引の使い方、前書き・後書き、奥付、本のつくり ・日本十進分類法 ・本のラベル(所在記号・請求記号) ・本の探し方 ・目的に応じた情報の使い分け ・インターネット検索の仕方・注意 ・博物館、資料館、文学館、記念館、公共図書館、防災センターの説明 	<p>第2学年～第6学年では、二次元コードにより、Web上に掲載されている読書履歴カードの様式例を見ることができる。</p>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年上巻「としょかんへいこう」(2) ○ 第1学年上巻「としょかんとなかよし」(2) ○ 第2学年上巻「図書館たんけん」(3) ○ 第3学年上巻「図書館たんでいだん」(3) ○ 第4学年上巻「図書館の達人になろう」(3) ○ 第5学年「図書館を使いこなそう」(3) ○ 第6学年「公共図書館を活用しよう」(3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用、約束 ・本の探し方 ・本のつくり(表紙・題名) ・図書館の本の分け方・並べ方 ・本の分類、本の探し方 ・地域の図書館 ・本の探し方(分類・ラベル・司書の先生・百科事典) ・百科事典の活用(見出し語の見つけ方: 背・索引の巻) ・日本十進分類法 ・著作権の尊重 ・公共図書館(本以外の資料、多くの人を利用しやすい図書や機器、多様な本に親しめる工夫、ウェブサイト検索、電子図書館) ・図書館以外の施設(文学館、博物館・資料館、美術館) 	<p>全学年で、記録カードの記入例を示している。</p>